

令和6年度 第3回 運営推進会議議事録

- 日 時：令和7年1月21日(火) 17:30 ～ 18:30
- 場 所：篠原事業所2階 会議室
- 出席者：甲斐市職員、新居区民生児童委員、あすか在宅クリニック、山梨県立大学、利用者様家族、当法人職員、しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所職員（計10名）

議事事項	<p>1) 現状報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②サービスの内訳について ③看多機でのリハビリ職員の関わり ④インフルエンザ発生状況について <p>2) その他</p>																																															
議事内容	<p>議事 1) 現状報告</p> <p>① 利用者の状況について</p> <p>1) 利用者数は下記の通りとなっている。1月現在、入院された方が3人、お看取りとなった方が2人おり、15人の利用となっている。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1/15 現在</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>14人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>15人</td> </tr> </table> <p>2) 介護度</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">介護度</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>5%</td> <td>10.5%</td> <td>37%</td> <td>37%</td> <td>10.5%</td> </tr> </table> <p>平均介護度はR6年10月が3.5、12月が3.8と若干上昇している。</p> <p>要介護3以上の利用者が84.5%と看多機サービスは介護の高い方の利用ニーズが多いと感じている。</p> <p>3) 医療依存度について</p> <p>気管カニューレ：1名、痰吸引：3名、胃瘻：2名、膀胱留置カテーテル：4名、排便管理：3名、インスリン注射：2名、点滴：1名。きめ細やかなサービス提供を看護師が中心となって行っている。また注意点などを介護職と情報共有しながら行っている。</p> <p>② サービスの内訳について</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>10月</td> <td>12月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">通い</td> <td>241回/月</td> <td>392回/月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">泊まり</td> <td>98回/月</td> <td>164回/月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">訪問</td> <td style="text-align: center;">介護</td> <td>110回/月</td> <td>244回/月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">看護</td> <td>23回/月</td> <td>26回/月</td> </tr> </table>	月	10月	11月	12月	1/15 現在	利用者数	14人	17人	19人	15人	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	人数	1人	2人	7人	7人	2人	割合	5%	10.5%	37%	37%	10.5%			10月	12月	通い		241回/月	392回/月	泊まり		98回/月	164回/月	訪問	介護	110回/月	244回/月	看護	23回/月	26回/月
月	10月	11月	12月	1/15 現在																																												
利用者数	14人	17人	19人	15人																																												
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																																											
人数	1人	2人	7人	7人	2人																																											
割合	5%	10.5%	37%	37%	10.5%																																											
		10月	12月																																													
通い		241回/月	392回/月																																													
泊まり		98回/月	164回/月																																													
訪問	介護	110回/月	244回/月																																													
	看護	23回/月	26回/月																																													

利用者数の増加に伴い、「通い、泊り、訪問介護」が増加した。複数のサービスを組み合わせ、在宅生活を維持したいという利用者と家族が多い。また難病や終末期の利用者は医療保険での訪問看護を利用している。

(質問)

10月に比べて利用者数が増えている。サービスの内訳をみると「通い、泊り、訪問」の回数が増えている。地域に必要なサービスでニーズが高い事を示していると思う。地域に密着し長くしっかりと住民の生活の中に入るサービスとして期待したい。心配になるのは、職員のマンパワーである。マンパワーを保つ為にどのように対応しているか。

(応答)

職員の採用は法人を通して行っていて月に1~2人採用している。しかし、途中で体調を崩してしまう職員もいて、日中は看護師やケアマネジャーも利用者の支援に入っている。職員の休暇はしっかりと取得できる体制は整えるようにしている。お互いを思いやり、協力する気持ちを大切に業務をおこなっている。

12月に利用者数が19名となった時は、通いサービスの規定人数を満たされるか注意し新規利用の制限をかけていた。今後も体制を整えた上でサービスを提供していきたい。

(意見)

12月に看取られた方の家族が友人であり、とても満足のいく最期をしらゆり看多機で迎えられたと話していた。良い形で利用者様が最期まで住み慣れた家を拠点としながら、本人、家族が望む暮らしを実現できる施設だと感じた。

② 看多機でのリハビリ職員の関わり

利用者が生活する上での課題を職員が抽出し、リハビリ職員に評価を依頼している。これまでに

- ・ベッド上の安楽な姿勢について
- ・車椅子の姿勢（クッション等の使用）
- ・ベッドから車椅子への移乗方法
- ・浴槽の出入り方法の検討
- ・食形態の検討

など、個々の利用者の課題について取り組んできた。自宅で注意して頂きたいことは、写真を付けて家族にお伝えしている。

(質問)

リハビリ職の評価の中で継続的リハビリが必要な利用者にもどのように対応しているか

(応答)

リハビリ職の指導の下、体調を確認しながら、機会を使用した運動や集団体操、個別体操をおこなっている。

(質問)

算定上の位置づけはどのようになっているか

(応答)

特に頂いていない。同法人にリハビリ職が在籍していることを強みとしており、利用者個々の評価等を今後も行っていきたい。

	<p>③ インフルエンザの発生状況について</p> <p>12/29～1/3 日までに利用者 4 名、職員 2 名のインフルエンザ A 型感染が確認された。陽性判明後、治療薬の内服を開始したが、90 歳代の 2 名は、糖尿病や心疾患の基礎疾患があり、食事や水分摂取ができなくなって医療機関への救急搬送となってしまった。対応としては、個室対応で対応する職員を決め、複数での出入りは制限した。</p> <p>また、N95 マスクの装着、手袋の着用を徹底。サージカルマスクと手袋は部屋を出る際に破棄し、アルコールでの手指消毒と手洗の徹底を行った。</p> <p>今回の件で事業所内の感染症対策について再検討している。</p> <p>高齢者は高熱にならずに感染症になることを踏まえて、通常より体温が高い場合は、個室対応として体調を確認し、必要時の抗原検査の実施をしていくようにする。</p> <p>「感染を拡大させない、自分も感染を予防する。」を忘れずに従事していく。</p> <p>今後も、法人の感染委員会での対応策も参考に、都度、事業所としての見直しが必要と考える。</p> <p>(意見)</p> <p>年末にかけて職場でもインフルエンザが蔓延していた。看多機では感染対策をしっかり行ったことで蔓延することなく対応できたと思う。</p> <p>(意見)</p> <p>様々な施設でインフルエンザが蔓延していた。感染に対してノウハウのない施設では利用者全員が感染した施設も多くある中、法人内に医療機関がありノウハウがある事が強みであると思う。4 名で感染を留めて、緊急搬送が必要な利用者は早期に対応していて、良い判断だったと思う。</p>
<p>備考</p>	<p>次回会議：R7 年 3 月 25 日（火）17：30</p> <p>場所：しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所</p>